

徳島大学研究クラスター講演会（共催）

- ◆選定クラスター「微細結晶・重合体に起因する自然炎症が引き起こす健康被害に対するリスク評価法および治療薬の開発」（代表：齊藤達哉）
- ◆重点クラスター「難病の克服を目指した免疫学研究の拠点形成」（代表：安友康二）

■日時：平成29年 **12月22日(金)**17:00～18:30

■場所：藤井節郎記念ホール

自己炎症疾患の発症機序と エクソソームの役割

華山 力成 博士

金沢大学医学系免疫学 教授
金沢大学先進予防医学研究センター 部門長
金沢大学ナノ生命科学研究所 (WPI-NanoLSI) 教授

[関連する主要論文]

EBioMedicine 22 : 89 (2017)

Sci Rep 6 : 33935 (2016)

Sci Rep 5 : 7989 (2015)

Cell 140 : 704 (2010)

Cell 140 :619 (2010)

●本研究クラスターが開催する講演会では、微粒子による健康被害や免疫難病に関する解析を進めている研究者に最新の成果をお話いただきます。講師の華山博士は、MFG-E8を介したアポトーシス細胞の貪食機構の発見をはじめとして、素晴らしい研究業績をあげている研究者です。本講演会では、近年精力的に進めている「エクソソームの誘導機構、病態生理的意義や検出法に関する研究」をご紹介します。エクソソームは、微粒子・免疫に加えて、がん・神経・発生など様々な研究分野において注目されています。生物学・医歯薬学研究に携わる皆様にとって、最先端の研究に触れる貴重な機会になると存じますので、ぜひご来聴ください。

●本講演会は、大学院特別講義を兼ねています。大学院生の皆様も、ぜひご来聴ください。

連絡先

先端酵素学研究所 炎症生物学分野
齊藤 達哉（内線2540）
saitohtatsuya@tokushima-u.ac.jp